

今回紹介する団体：香川県土地改良事業団体連合会

取組概要

内容： 香川県ため池保全管理サポートセンターで、防災重点農業用ため池の劣化状況調査を行うにあたり、水土里情報システムに登録された、ため池の位置情報や諸元を、Google マイマップと連携し、効率化を図った。

経緯： 香川県には中山間地域に位置した小規模なため池が多数あり、進入路は管理者しか分からないようなあぜ道である場合が多い。また、ため池密度が高く、近隣に同規模の池が複数あり、調査対象ため池の判断が難しいことも多くある。

そのため、現地状況により縮尺を自在に変更でき、かつ、調査対象ため池の位置情報と諸元を確認できるシステムが必要となったため、ため池の位置情報と諸元をGoogle マイマップに登録し、Google マップ上に表示できるようにした。

Google マップは、様々な端末で日常的に使われており、調査員が容易に操作可能である。



(ため池位置情報：水土里情報システム)



(ため池位置情報：Googleマップ)

取組による効果

中山間地域のため池の周囲は耕作放棄地となり、山林化している場合が多い。そのようなため池では、山林の道を歩いて現地調査を行わなければならない。

ため池の場所と現在地が、タブレットやスマートフォンの Google マップ上に表示されるので、調査対象ため池との位置関係の把握が容易となり、迷うことなく調査対象ため池に到達することができる。



スマートフォンのGoogleマップ

今後の活用予定

今回活用した Google マップの活用については試行段階であるが、以下について検討したい。

- ① ため池だけでなく、水路、農道、頭首工、機場、水門など、他の土地改良施設の現地調査
- ② 写真や劣化状況診断記録簿など調査結果との連携

凡例			
	頭首工		揚水機場
	樋門・水門		開水路



①水路等を反映した Google マップ (試行)

GISシステムのバージョン情報

GISソフト : Arc GIS Desktop Ver10.7.1
現地確認 : Google マップ

■お問い合わせ先

香川県土地改良事業団体連合会 会員支援課

087-832-7140